

○「令和4年度医薬品副作用被害救済制度に関する認知度調査」結果概要《一般国民》

1. 調査概要

- (1) 調査対象 一般国民(全国の20歳以上の各年代(20代、30代、40代、50代、60代以上)ごとの男女、計3,399人)
- (2) 調査方法 インターネット調査(登録モニターによるWEB調査)
- (3) 調査時期 令和4年12月9日(金)～令和4年12月23日(金)
- (4) 調査項目 制度の認知率、制度の内容理解度、制度の認知経路、集中広報の評価、制度の関心度 など

2. 調査結果の概要

〈制度の認知率〉

(1) 医薬品副作用被害救済制度の認知率について

- ・ 制度の認知率(知っている+聞いたことがある)は 36.1% (前年度 33.8%)
- 〈内訳〉 「知っている」 11.2% ( 10.2%)
- 「聞いたことがある」 24.9% ( 23.6%)

○過去5カ年の認知率の推移

(単位:%)

集計項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認知率	29.7	30.2	25.5	33.8	36.1
知っている	8.9	9.4	7.6	10.2	11.2
聞いたことがある	20.8	20.8	17.9	23.6	24.9

〈制度の内容理解度〉

(2) 医薬品副作用被害救済制度の内容理解度(制度認知者ベース)について

- ・ 公的な制度である 63.1% (前年度 61.4%)
- ・ 副作用による健康被害について救済給付を行う 57.3% ( 54.3%)

〈制度の主な認知経路〉

(3) 制度の主な認知経路(制度認知者ベース・複数回答)について

- ・ テレビ放送(CM) 28.9% (前年度 28.1%)
- ・ 人から聞いた/教えてもらった 22.9% ( 23.0%)
- ・ 病院等に掲示してあるポスター 21.9% ( 21.0%)
- ・ インターネット(PMDAホームページ) 18.0% ( 15.3%)
- ・ 新聞 15.8% ( 17.7%)
- ・ インターネット(バナー広告、YouTube等の動画サイト) 15.8% ( 13.1%)
- ・ 病院診療所の院内ビジョン薬局ビジョン 11.8% ( 9.3%)
- ・ 医薬品の外箱・説明書 10.6% ( 10.1%)

## 〈集中広報の評価〉

### (4) テレビCMの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 10.8% (前年度 9.8%)
- ・ テレビCMの評価は、「印象(記憶)に残った」が 57.0%(前年度 54.7%)、「興味や関心を持った」が 61.7%(58.3%)、「役に立つ情報が得られた」が 70.3%(68.0%)、「詳しく調べてみようと思った」が 45.7%(40.5%)

### (5) 救済制度紹介動画の認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 6.6% (前年度 6.5%)
- ・ 制度紹介動画の評価は、「印象(記憶)に残った」が 66.4%(前年度 64.7%)、「興味や関心を持った」が 65.8%(64.8%)、「役に立つ情報が得られた」が 73.7%(72.1%)、「詳しく調べてみようと思った」が 48.3%(45.5%)

### (6) 新聞広告の認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 16.1% (前年度 12.1%)
- ・ 新聞広告の評価は、「印象(記憶)に残った」が 47.4%(前年度 45.8%)、「興味や関心を持った」が 51.6%(50.9%)、「役に立つ情報が得られた」が 57.1%(58.7%)、「詳しく調べてみようと思った」が 41.0%(38.2%)

### (7) 薬局・院内ビジョンの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 13.9% (前年度 12.0%)
- ・ 薬局・院内ビジョンの評価は、「印象(記憶)に残った」が 73.6%(前年度 68.8%)、「興味や関心を持った」が 73.8%(71.1%)、「役に立つ情報が得られた」が 76.1%(71.9%)

### (8) 救済制度のリーフレットの認知率と評価について

- ・ 認知率(受けとったことがある＋受け取ったような気がする) 9.7% (前年度 ー%)
- ・ 救済制度のリーフレットの評価は、「印象(記憶)に残った」が 76.8%(前年度 ー%)、「興味や関心を持った」が 74.4%(ー%)、「役に立つ情報が得られた」が 75.3%(ー%)

### (9) 特設サイトの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 10.8% (前年度 10.1%)
- ・ 特設サイトの評価は、「印象(記憶)に残った」が 80.7%(前年度 76.5%)、「興味や関心を持った」が 81.5%(74.4%)、「役に立つ情報が得られた」が 83.1%(76.8%)

## 〈制度の関心度〉

### (10) 制度の関心度について

- ・ 制度の関心度(関心が持てた＋やや関心が持てた)は 69.0% (前年度 69.5%)

## ○過去5カ年の関心度の推移

(単位：%)

集計項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
関心度	73.7	77.3	80.7	69.5	69.0

※(一)は前年度調査対象外の項目